

.....  
おくちの  
相談室  
.....

【問い】口内炎がなかなか治りません。放っておいても大丈夫ですか。

（長崎市、72歳男性）

【答え】口内炎は多くの人が経験する疾患です。自然に治ることも多いのですが、放置していると悪化することや、重大な疾患を見逃すこともあります。特に長期間治らない場合は歯科での診断と治療が必要です。

口内炎にはさまざまな種類があり、最も一般的なのが「アフタ性口内炎」と呼ばれるもので、円形または楕円形の白っぽい潰瘍ができます。原因不明な場合が多く、ストレスや疲れによる免疫力低下、睡眠不足、栄養不足などが考えられています。通常は10日から2週間ほどで自然に治ります。

他にも、口の中をかんだり、矯正器具や入れ歯が当たったり

吉武歯科医院院長

（長崎市桜町）

回答者  
吉武 勇樹  
よし たけ ゆう き



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

口内炎

## 2週間治らなければ受診を

してできる外傷性の「カタル性口内炎」、単純ヘルペスウイルスの感染が原因の「ヘルペス性口内炎」、口腔常在菌のカンジダ菌による「カンジダ性口内炎」などもあります。

また、口内炎のように白い病変が口の中にできていても、口内炎ではなく他の病変というところも考えられます。

代表的な例としては「白板症」というものがあります。これは「潜在的悪性疾患」の中の一つです。口腔がんの多くはいきなりがんが出現するわけではなく、何かしらの前段階の病変があつて、その後がんへと変化していくのです。その前段階の病変で、悪性化の危険性がある病変を潜在的悪性疾患と呼ぶのです。

潜在的悪性疾患が全てがんに変化するわけではありませんが、口腔がん治療でも早期発見・早期治療が重要です。早めに潜在的悪性疾患を見つけておくことはとても大切です。

繰り返しますが、なかなか治らない口内炎がある場合、それは口内炎ではない可能性もあります。2週間以上治らない場合は放っておかず、まずはかかりつけの歯科医院を受診することをおすすめします。